

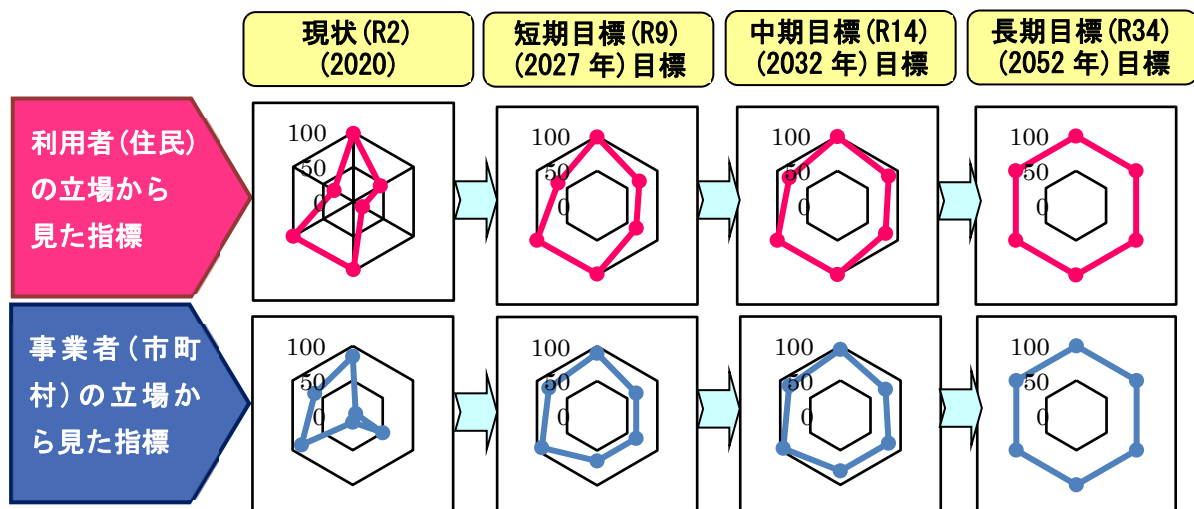
南牧村『水循環・資源循環のみち2022』構想 令和4年度策定

南牧村は、長野県の東端に位置し、標高1000メートル～1500メートルの高低差の激しい地域からなり、高原野菜を主産業とした農業や酪農が盛んです。この自然環境や水環境を後世に残すため、平成3年度に農業集落排水、平成6年度に特定環境保全公共下水道、平成9年度にコミプラ事業をそれぞれ着手いたしました。また、並行して下水道の区域外については浄化槽設置事業を進めてまいりました。生活排水施設は、機能の維持や利用者である住民の皆様への利便性や快適性を持続していくため、今後とも適切な維持管理のもと運営を行っていく必要があります。このため、50年先を見据えた経営計画に基づき、汚泥処理の集約化、維持管理の効率化等を検討し、生活排水施設の持続的な運営と良好な水と資源の循環を目指すため、令和4年度に従来の構想を見直して、30年後までの生活排水対策の構想である「南牧村 水循環・資源循環のみち2022」を策定しました。

南牧村の指標と目標

本村は、集合処理区域の整備が完了していることから、環境に対する認識を高めることや、生活排水にかかる情報公開を積極的に行っていきます。

- 利用者である住民の皆様に対する目標として
環境に関する生活排水との関連性について住民の皆様と認識を高めます。常に新しく有益な情報をホームページ等によりお伝えします。
- 事業者である私達の目標
バイオマス資源の有効活用のため広域連携を目指します。生活排水の持続的な経営を行っていきます。



■利用者（住民）の立場から見た指標

- ★本村では、県下統一指標を主体として将来目標を以下のとおり設定しました。
- ★独自指標については、住民も皆様と研究を行い今後設定をしてまいります。

- (1) 暮らしの快適さと安全を表す評価項目
 - A:快適生活率(%)【県下統一指標】
現状R2=97.9、R9=98.6、R14=99.3、R34=100
 - ①:浄化槽適正管理率(%)
現状R2=85.0、R9=90.0、R14=95.0、R34=100
- (2) 環境への配慮を表す評価項目
 - B:環境改善指数(%)【県下統一指標】
現状R2=45.0、R9=70.0、R14=85.0、R34=100
 - ②:浄化槽管理者に対する適性維持管理周知率
現状R2=5.0、R9=65.0、R14=75.0、R34=100
- (3) 生活との関連性を表す評価項目
 - C:情報公開実施指数(%)【県下統一指標】
現状R2=15.0、R9=65.0、R14=80.0、R34=100
 - ③:環境学習実施率
現状R2=50.0、R9=75.0、R14=80.0、R34=100

■事業者（市町村）の立場から見た指標

- ★浄化槽の整備促進を今後も進め生活改善を継続的にを行います。
- ★バイオマスの利活用と経営の安定化を進めます。

- (1) 整備事業の達成度を表す評価項目
 - D:汚水処理人口普及率(%)【県下統一指標】
現状R2=97.9、R9=98.6、R14=99.3、R34=100
 - ④:料金滞納削減率(%)
現状R2=10.0、R9=65.0、R14=80.0、R34=100
- (2) 資源循環への貢献を表す評価項目
 - E:バイオマス利活用率(%)【県下統一指標】
現状R2=100、R9=100、R14=100、R34=100
 - ⑤:水質保全貢献率
現状R2=85.0、R9=92.0、R14=95.0、R34=100
- (3) 経営改善の状況を表す評価項目
 - F:経営健全度(%)【県下統一指標】
現状R2=32.0、R9=65.0、R14=80.0、R34=100
 - ⑥:維持管理費回収率
現状R2=63.0、R9=80.0、R14=85.0、R34=100

住民参画への取組

これまでも、多くの村民の皆様のご理解とご協力をいただき生活排水対策を進めてまいりましたが、これからも皆様に御協力をいただきながら持続的な生活排水対策を進めてまいります。

【これまで】

- ★告示に関するお願いや地元説明会の実施
- ★使用料改定時などでの審議会等による公開審議

【これから、短期～中期～長期】

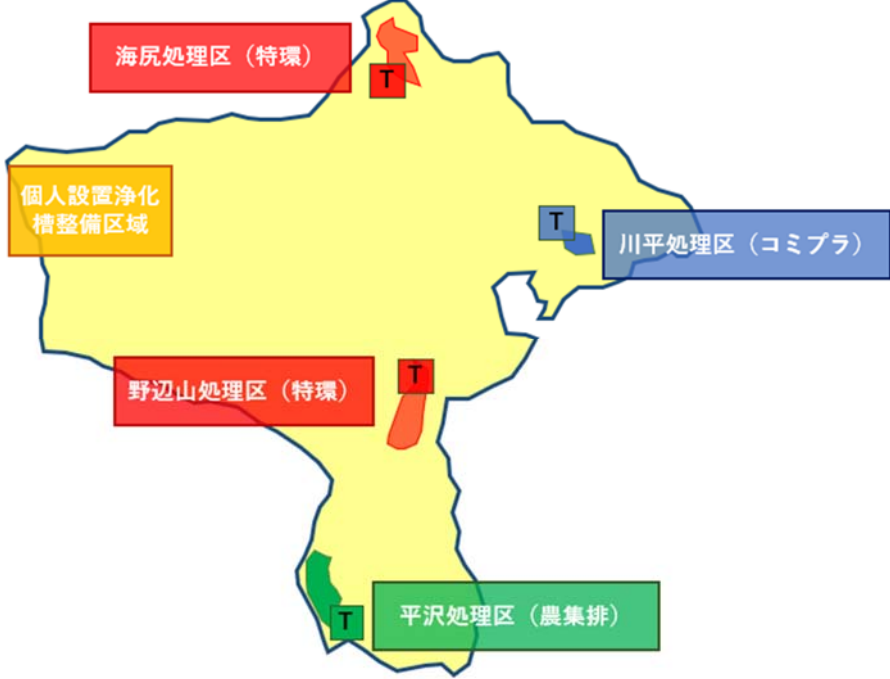
- ★水循環の改善や状況について住民の皆様と実感できる取組みを実施
- ★定期的な生活排水事業計画とその財政状況（経営状況）の公開
- ★住民の皆様からの意見募集→次回の構想への反映や経営改善への共同作業へ



南牧村『生活排水エリアマップ2022』 令和4年度策定



生活排水エリアマップ2022（概要図）



これまでの取組と今後の方針

南牧村の生活排水施設整備は、平成3年度に汚水処理施設整備構想エリアマップを作成し、各処理区域を明確にした上で、先ず農業集落排水事業に着手するとともに、その後、特定環境保全公共下水道事業へも着手し整備を進めてきました。

これまでの取組により、特定環境保全公共下水道や農業集落排水区域の整備は終了しましたが、それ以外の区域での浄化槽整備が残っているため、できる限り早期に生活排水施設を設置していけるよう進めてまいります。



エリアマップでの取組方針

- 生活排水エリアマップ2022における整備概要
- 【短期：浄化槽(個人設置型)の整備を推進します】
- 【中期：浄化槽(個人設置型)を引き続き整備推進します】
- 【長期：全村整備完了を目指します】

アクションプランへの取組

- 特定環境保全公共下水道は平成14年までに整備済みです
- 浄化槽の適正管理の推進
法定検査受検率の向上を図るため、住民の皆様へわかりやすい説明等を行っていきます。
- 水洗率の向上
今後も水洗化へ向けた事業を実施していきます。

全ての人が生活排水施設を利用するために



【方針】人口減少が見込まれますが、引き続き全村民の皆様が快適な生活を享受できるよう整備を進めます。

- 浄化槽について更なる設置を進めます。
浄化槽設置助成制度、維持管理助成制度の拡充に努めます。
浄化槽管理等を行う方への定期的な指導を実施します
台帳整備により適切な浄化槽状況の把握に努めます
下水道、農集排との負担均衡のため定期的に助成制度を見直します

防災・減災対策への取組

- 大規模地震等に備えた対策
 - ① 災害時の対応
 - ・ 平成27年4月1日にBCP策定し、発災直後から実施する対応について計画を立てました。令和2年3月31日には改定を行っています。今後も随時更新していきます。
 - ・ 災害時職員のみでは対応できないし尿の収集や、避難所での仮設トイレを早急に準備するため、平成30年度に県内の組合や村内業者と協定を締結しました。災害時に迅速かつ的確に業務を実施できるよう協力して参ります。
 - ② 災害への対策
 - ・ 令和5～6年度に特定環境公共下水道(海尻浄化センター)の耐震化を実施する予定です。他施設も必要に応じて耐震化を実施していきます。

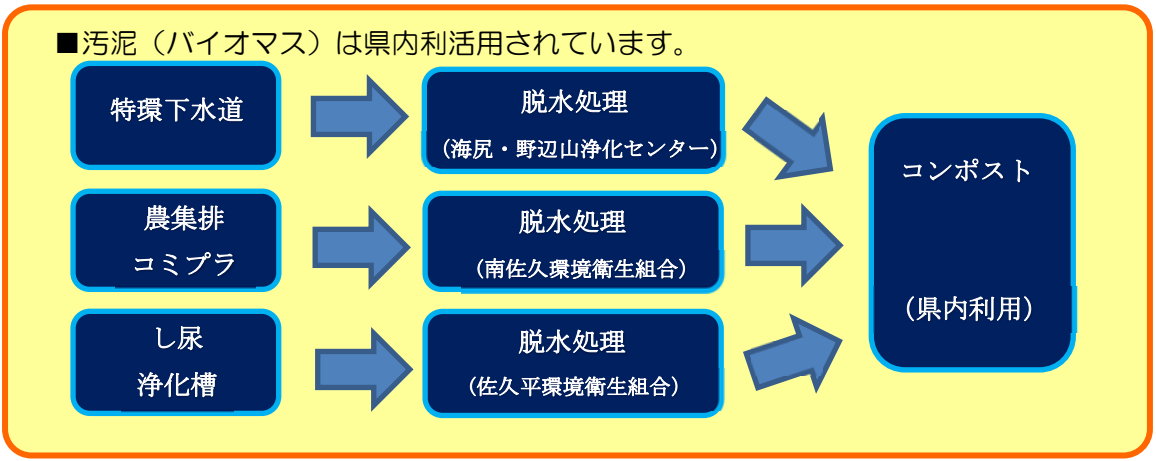
南牧村『バイオマス利活用プラン2022』 令和4年度策定



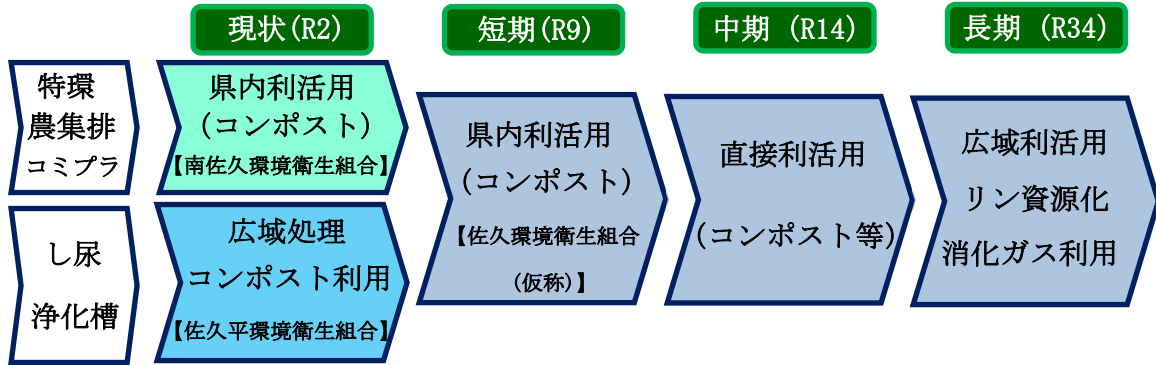
バイオマスの利活用の方針

南牧村の生活排水施設系から発生する汚泥（バイオマス）は、施設毎に個別処理を行っており、他市町の処理場にて処理された後に県内で主にコンポスト利用されています。現状の課題としては、処理に係る経費が経営にとって大きな負担となっていることです。
 今後は、処理費の軽減策の検討しコスト削減を図ると共に、バイオマスの活用用途の拡大を目指します。

バイオマスの現状と方向性



■バイオマス利活用コストの削減に努めます
 し尿・浄化槽のみの単独処理から公共下水道との連携を目指します
 バイオマス資源の有効活用のため広域連携を目指します



南牧村『経営プラン2022』 令和4年度策定



経営プランの方針

南牧村では、平成6年に農業集落排水を供用開始して以来、特定環境保全公共下水道の2処理区、コミュニティプラントを含め4処理区が供用開始済みとなっています。その経営状況は、使用料収入の他、一般会計からの繰入により賄われています。

このため、将来にわたって持続可能な経営を検討していく必要があり、50年先の状況まで見通した上で、構想の策定目標年度の15年後までにできる改善計画を検討し、「経営プラン2022」を策定しました。



管理経営の状況と方向性

■管理経営の状況

- ・維持管理費の効率化を今後とも進めますが、令和3年度から特定環境保全公共下水道の改築更新を実施しているため、維持管理費は増加する見込みです。引き続き一般会計からの繰入が続く予定です。
- ・令和元年度に使用料金の改定を行いました。しかし、処理人口の減少による減収のため、管理経営は現在も厳しい状況が続いています。今後も段階的に使用料金を見直し、適正な料金設定を行っていきます。

これからの管理と経営



■管理経営状況の明確化

- ・経営状況を公表し村民の皆様に状況をご確認して頂く取組を行います。
- ・その上で、持続的な生活排水対策について、一緒になって検討していけるような取組を行います。

■経営基盤の強化

- ・使用料金について村民の皆様の御理解を得ながら適正な料金についての検討を行ってまいります。

■少子高齢化への対応

- ・今後は一段と少子高齢化が進行していきますが、安心して生活排水施設を利用できるよう、関係者が一丸となって対応してまいります。

現状把握と効果検証

■南牧村「水循環・資源循環のみち2015」構想の見直しに当たり、事業者が構想における現状把握と効果検証を行いました。その結果は次のとおりです。
また、その結果を基に今回見直しを行いました。

指標	現状把握（令和2年度末現在）		検証結果	見直し方針
	計画	実績		
A:快適生活率	98.3	97.9	目標こそ達成していないものの、わずかながら上昇しています。	令和34年度の目標100%を達成できるように、生活排水制度への理解を図っていきます。
①:浄化槽適正管理率	98	85	目標どおり進んでいます。	当初目標どおりに進めます。
B:環境改善指数	63	45	努力が必要です。身近な環境について共有できるよう取り組みを行う必要があります。	当初目標どおりに進めます。
②:浄化槽管理者に対する適性維持管理周知率	10	5	努力が必要です。	今後、浄化槽の適切な維持管理について、周知していきます。
C:情報公開実施指数	60.2	15	目標を達成しておりません。	ホームページや広報などを活用し、目標達成に努めます。
③:環境学習実施率	100	50	努力が必要です。	当初目標どおりに進めます。
D:汚水処理人口普及率	99.7	97.9	目標こそ達成していないものの、わずかながら上昇しています。	令和34年度の目標100%を達成できるように、生活排水制度への理解を図っていきます。
④:料金滞納削減率	20	10	努力が必要です。	料金の滞納を削減できるよう努めます。。
E:バイオマス利活用率	100	100	目標どおり進み、汚泥の肥料としての有効利用が進んでいます。	当初目標どおりに進めます。
⑤:水質保全貢献率	80	85	目標どおり進んでいます。	今後も当初目標どおりに進めます。
F:経営健全指数	58	32	努力が必要です。	令和34年度までには目標を達成できるように進めます。
⑥:維持管理費回収率	70	63	目標こそ達成していないものの、わずかながら上昇しています。	当初目標どおりに進め、目標達成できるように努めます。

【お問い合わせ】〒384-1302 長野県南佐久郡南牧村大字海ノ口 1051
南牧村役場 TEL0267-96-2211 FAX0267-96-2227